

一般質問

録画映像はこちら



6月20日～22日の3日間にわたって一般質問を行いました。一般質問とは市政全般について市の考えなどを聞くもので、26人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。

会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)



環境、道路、下水道、河川、消防、水道、地下鉄など

環境 脱炭素社会に向け、市民一人一人を後押しする広報啓発を新風

問 脱炭素社会の実現に向けて、未来を担う小中学生を含む市民一人一人の行動を後押しし、誰もがCO2削減に取り組む、参加するような広報啓発に、どのように取り組んでいくのか尋ねる。

答 脱炭素社会の実現には、市民や事業者の理解・共感を広げ、一体となって取り組みを進めることが不可欠である。深刻な状況等を市民や事業者と共有し、連携・協力しながら、今後とも効果的な啓発に取り組んでいく。

問 令和3年6月に千葉県で、下校中の児童の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、児童5人が死傷するという痛ましい事故が起きた。この事故を受けた本市における取り組み内容とその進捗状況について問う。

答 154カ所において、防護柵の設置や路側帯のカラー化

化、歩道の設置などを実施し、令和5年3月末までに148カ所の対策が完了した。残りの6カ所については、令和5年度の完了に向け、取り組んでいる。



路側帯のカラー化

総合計画、国際交流、財政、地域コミュニティ、防災など

スポーツ 世界水泳選手権福岡大会は中止すべき 共産

問 世界水泳選手権福岡大会は、大企業の利益優先で事が進み、市民負担は莫大な額に膨れ上がっており、今後さらに膨れ上がることも市は否定できない。今からでも中止すべきではないか。

答 世界のトップスイマーの活躍に触れることで、市民に夢や希望を与え、スポーツ振興への効果が期待できるとともに、地域経済のみならず九州・日本の経済活性化につなげていきたい。また、都市ブランド力の向上につなげられるよう準備を進めていく。

問 福岡市は都市と自然が調和の強みを生かした交通ネットワークや持続可能な生活交通確保など、交通のあり方を検討していく必要がある、多くの市民等の意見を伺いながら検討を進めていく。

答 福岡市は都市と自然が調和の強みを生かした交通ネットワークや持続可能な生活交通確保など、交通のあり方を検討していく必要がある、多くの市民等の意見を伺いながら検討を進めていく。

問 近年の全国の災害発生率を考えると、事前に個別避難計画の作成率を上げ、非常用電源で生命維持できる時間を確保しておくことが必要である。要配慮者への取り組みについて、防災先進都市としての観点から所見を問う。

答 災害時における要配慮者への取り組みは大変重要であり、非常用電源の確保や個別避難計画の作成、福祉避難所の拡充などを進めている。災害時に要配慮者が安全に安心して避難できるように、さらに取り組んでいく。

問 本市の消防局は、防災・防火活動への取り組み、出動

人事 消防局長は消防吏員の中から人育て上げるべき 無所属

問 誰かが安心して子育てができるよう子育て支援の充実を

答 働いている、いないに関わらず、希望する全ての保護者が週1、2回、保育所等に子どもを預けられるなど、楽しく子育てに引き合えるようにしていきたい。誰もが安心して子育てできる福岡市へ向けて所見を問う。

問 子ども・子育て施策の充実

答 子ども・子育て施策の充実には、重点的に取り組むべきものと考えている。今後とも、誰もが安心して生み育て、子どもが健康やかに成長していけるよう、切れ目のない支援にしっかりと取り組んでいく。

問 安心して不妊治療を受け、出産できるよう助成の拡充を

答 不妊治療の保険適用が拡充されたが、治療内容によっては負担が増える例もある。安心して不妊治療を受け、出産できるように、助成拡充に取り組んでほしいと考えるが所見を問う。

問 母子健康手帳の電子化を

答 法律上、母子健康手帳は紙媒体からの完全な電子化は難しいとのことだが、電子化により、保護者の負担を減らし、医療機関と行政の迅速な連携も図れると考える。電子化に向けた現在の本市の動きについて尋ねる。

問 地域の子育て支援の充実を

答 令和5年度から開始した第2子以降の保育料無償化は、幼稚園が実施するいわゆるプレ通園は対象外である。保育園に通う家庭だけでなく、家庭で保育を行っている世帯への支援の充実も必要と考えるが所見を問う。

問 子どもの一時的預かり事業等は利用者の声を生かし充実を

答 子どもの一時的預かり事業等は、地域の保育需要動向を踏まえ、増築や改築など既存園の定員見直しなどを基本に対応し、適宜、需要動向に留意しながら整備のあり方を検討していく。

問 ミリール・サポート・センター事業については、事業者へのヒアリングだけでなく、利用者の声を生かして充実したものにするとともに、さらなる事業の拡充が必要と考えるが所見を問う。

答 地域全体で子どもと子育て家庭を見守り、支える環境をつくるため、身近な地域における子育て支援の充実に取り組んできた。今後、地域における子育てのニーズに応じた支援の充実を図っていく。

問 家庭で保育を行っている世帯への支援の充実を

答 令和5年度から開始した第2子以降の保育料無償化は、幼稚園が実施するいわゆるプレ通園は対象外である。保育園に通う家庭だけでなく、家庭で保育を行っている世帯への支援の充実も必要と考えるが所見を問う。



保育所での様子